

## 交換留学（派遣）帰国報告書

.....  
留学先大学：西オーストラリア大学  
留学先での所属学部・研究科：Faculty of Arts  
留学先での在籍身分：学部生  
留学期間：2015 年 2 月～ 2015 年 11 月  
神戸大学での所属学部・研究科：文学部  
学年（出発時）：3年  
本報告書記入日：2015 年 12 月 10 日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：2 月 23 日

学年終了月日：11 月 21 日

学期：

① 2 月 23 日～ 月 日

② 月 日～ 11 月 23 日

③ 月 日～ 月 日

④ 月 日～ 月 日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

理系に強い総合大学。在学中の現地人曰く、農学、医学系の学部の評判はいいとのことでした。

#### 1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

Study Smarter という、語学のサポートを目的とした組織があり、エッセイ、コミュニケーション等の英語のチェックをしてくれます。

勉学面でのサポート：

ユニットごとに数人～十数人のチュートリアルに配属されますが、その授業を受け持つチューターがアドバイスをくれたり、相談に乗ってくれました。

精神面でのサポート：

Student central という学生が各種手続きなどを行う場所がありますが、そこでいろいろな相談もできると思います。

住居・生活面でのサポート：

同上。

課外活動のサポート：

ボランティアセンターがあるので、そこでいろいろな活動に応募できます。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

私はシェアハウス、ホームステイをえらんでいましたが、学生寮と比較するとできる人脈に結構な差ができます。金銭面を重視するならシェアハウス、ホームステイ、友人作りを重視するなら学生寮を選べばいいと思います。シェアハウスやホームステイなら食費を考慮しても学生寮と月に500~600ドルほど安くついていました。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

OSSMA付帯保険

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

学生ビザ取得に必要な保険(OSHC)に加入していました。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

シェアハウス、ホームステイ先の家賃に含まれていました。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学校内であればおおよそどこでも使用できました。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

日本と変わりありません。

## 3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

現地でANZbankの口座を作りました。また、円高豪ドル安になった時にすぐに交換できるよう、キャッシング可能なクレジットカードを持って行き、それでレートがいい時にお金を引き出していました。

## 3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

現地学生は高校時代からの友人たちと行動を共にすることが多く、なかなかオーストラリア人と友達になるのが大変でした。また、人種差別らしきものにもあったことがあるので、多少あるものだという認識は必要だと思います。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

チュータリングを行っていた生徒、また、学校の友達の友達といった学外の人たちと仲良くしていました。また、バーなどでは気さくな人が多かったのでそこでできた友達ともよく出かけていました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

日本語を現地人やインターナショナルの学生に教えるチュータリングを行っていました。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

街を流れるスワンリバーの景観がとにかく美しく、静かで心癒される場所だと思います。

## 3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

## 4. 経費について

## 4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO , 7万 円／月

## 5. アドバイス及び感想

## 5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

Gumtree（個人がいろいろなものを広告できるwebページ）

## 5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

キャッシングができるクレジットカード

## 5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（ ） 点→帰国後（ ） 点

語学力の向上はもとより、留学先で学んだ授業内容自体も実践的で今後活かせるものだと思います。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

現地で国内旅行のツアーに申し込んだ際に振込みがうまくいかず、銀行、クレジットード会社、ツアー会社に電話をかけたがたらい回しにされ続け、結局解決するまでに一週間以上かかりました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

静かな環境で勉強に集中したい方におすすめします。ただし、学校周辺には良くも悪くもあまりなにもないので、大きな街で勉強以外の活動を楽しみたいという人には向いていないかもしれません。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 1
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 3
- ・留学全体の総合的な評価： 4

**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

| No. | コース名                   | 教授名                        | 時間数<br>／週 | 留学先<br>での単<br>位数 | 履修し<br>ている<br>学生数 | 予習、復習、テスト等についてアドバイスも含<br>めて教えてください。                                         |
|-----|------------------------|----------------------------|-----------|------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1   | HUMA1901               | Penny<br>Hawken            | 135分      | 6                | 数十人<br>単位         | 出される課題を着実にこなせば英語での<br>学習に必要な技術、知識を得られます。                                    |
| 2   | HUMA1902               | Penny<br>Hawken            | 135分      | 6                | 数十人<br>単位         | 同上                                                                          |
| 3   | Marketing1204          | Julie Lee                  | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | 教科書主体の授業なので、テキストをしっかり読み込めば<br>対応できます。ただし、オンラインで授業の配信は行って<br>いません。テストは選択式です。 |
| 4   | Marketing<br>1107      | Julie Lee                  | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | 統計等を扱っていた授業ですが、課題はさほど重い<br>ものではありませんでした。テストは選択式です。                          |
| 5   | Micro<br>Economics1101 | Ingebjorg<br>Kristoffersen | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | 基本的な経済理論を学びますが、現地学<br>生もかなり苦労していた印象でした。                                     |
| 6   | Marketing<br>1203      | Paul                       | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | マーケティングのマネジメントについ<br>て学びます。                                                 |
| 7   | Marketing<br>2238      | Fang Liu                   | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | マーケティングの中でもとくに広告、<br>プロモーションについて学びます。                                       |
| 8   | Anthropology<br>1002   | Sean Martin-<br>Iverson    | 135分      | 6                | 数百人<br>単位         | グローバル社会の観点から人類学を学<br>びます。                                                   |
| 9   |                        |                            |           |                  |                   |                                                                             |
| 10  |                        |                            |           |                  |                   |                                                                             |

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業は難しいものもありますが、チューターが相談に乗ってくれます。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：10万円

・住居費：（月額）8万円 ×（留学月数）10ヶ月 = 80万円

・食費：（月額）万円 ×（留学月数）10ヶ月 = 20万円

・保険料：18万円

・その他：30万円

合計：148万円（留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。（800字〜）

留学期間はあまりに楽しくあっという間に過ぎ去り、今となっては渡航前の語学要件を突破するために頑張った時間、ビザ申請や健康診断、また海外生活のための準備期間の方が長かったような気がします。オーストラリアにつく前は自分の語学力で一年間現地学生と同じ学習環境でついていけるだろうか、あるいは異文化の人たちと一緒に生活していくことなどできるのだろうかと心配ばかりしていましたが、それらは杞憂におわりました。

交換留学では優れた大学の現地学生たちに混ざって現地の授業をそのまま受講しますが、授業についていくためこちら必死になって勉強しました。授業前後の予復習はもとより、教授やチューターに積極的に質問や相談にいくことで遅れを取り戻すことも可能な上に、教授やチューターは概して非常に留学生に対して協力的だったので、授業外で興味を持ったことに関してや、オーストラリアでの生活についてのアドバイスをくれたりしました。そうやって目の前の課題を1つずつ着実にこなし、積極的に相談等する過程で、現地で学習する上で必要なスキルや語学は自然についてきたと思います。私はこの交換留学以前にフィリピンでの語学研修の経験がありますが、同じ期間の学習でも交換留学での学習の方が英語の伸びひとつとっても圧倒的に効果的で、成長を実感することができました。

また、現地での生活の中で大切だと思ったのは、住む環境です。私はシェアハウス2件、ホームステイ一回をこの留学の中で経験していますが、特に最後に住まわしていただいたホームステイ先のホストマザーは大学教授で、留学中でも最も大きな感銘を受けた人物の一人です。彼女は学習の手助けをしてくれたり、また語学面でのサポートやアドバイス、さらには彼女自身の経験や価値観、知識を教えてくれたり、私の留学にさまざまな付加価値をつけてくれました。大学での授業だけではなく、自分が生活する場所にそのような素晴らしい人物がいたことは本当に幸運だったと思います。